

Smile 庄内

岡山市立庄内小学校

学校だより No.20

令和4年11月21日発行

③

11月

しょうじき なかよし いっしょうけんめい いのちだいじに

みんなが幸せをめざす ー本校の人権教育ー

11月16日(水)、人権教育をテーマにした研究公開授業を行いました。岡山市内のたくさんの先生方に授業を見ていただきました。人権教育とはよく耳にしますが、その内容となると抽象的で、一言で定義することが難しい言葉のように思います。私たちは、「たくさんの笑い声の影で一人涙する子がいないように一人一人を大切にしていきたい」「多数の幸せのために、理不尽な思いを強いられている少数の人がいるならば、それを明らかにして、みんなが幸せな世界をつくれる子どもを育てたい」そんな願いを持って、人権教育の研究と実践に取り組んできました。研究会は終わっても、引き続き「みんなが幸せな学校」をめざして、努力していきたいと思えます。

11月1日(火)には、中学校区の他の学校の先生たちに来ていただき、5年生の道徳の授業を見てもらいました。これは、「多角的に考え、学びを深める子どもの育成」を研究テーマに公開した授業でしたが、授業の内容は「本当の自由」について考えるものでした。この授業も「自分だけの自由(幸せ)を考えるのではなく、みんなの幸せを考える」という人権教育の視点につながるものでした。まさに、人権教育は、学校教育全体の基盤です。



4年生 学活「自分らしくさ」とは子どもたちは、男らしさ、女らしさととらわれない、自分らしさについて考え、互いの個性を認め合うことの大切さに気づいていきました。



11月1日(火)
中学校区研究会の授業の様子

11月16日(水) 人権研究会の授業の様子

5年生 道徳「本当の自由」子どもたちは、自由とは、自分勝手にすることではなく、周りのことを考えた上で、自律的で責任のある行動をすることだと気づいていきました。

11月のテレビ朝会で、子ども達に「幸」の字の話をしました。180度ひっくり返しても「幸」は「幸」です。この字を見ていると、自分だけの幸せなんてない、自分も相手も幸せじゃないと本当の幸せとは言わないよと、語りかけられているような気持ちになります。ただ、立場や環境が変われば、人にとっての幸せは変わるものです。私の感じる幸せと相手の感じる幸せが同じとはかぎりません。「みんなが幸せ」と言うのは簡単ですが、実現は相当難しいはず。それでも子どもたちと一緒に、それに挑戦し続けたいと考えています。

幸 → 幸

3年生 社会科見学

11月15日(火)3年生が、岡山城と後樂園に社会科見学に行きました。岡山市に残る歴史遺産に触れ、郷土に対する興味関心を深めるとともに、岡山の中心街と我が町庄内の様子を実際に見比べることで、教科書の学習をより深めることができました。

